

Publication No. JP 60-035033 U (published on 11 March 1985)

BIAXIALLY STRETCHED BOTTLE WITH BASE CUP

A biaxially stretchable bottle 1 with a base cup comprises a cylindrical body 3, and a handle 9, wherein the cylindrical body 3 is formed to be biaxially stretched in such a manner that a bottom wall 2 of the cylindrical body 3 is swollen downwardly like a spherical surface, a cylindrical base cup 8 made of paper, which is formed so as to stably erect, is fittingly installed in the cylindrical body 3 of the bottle 1, the cylindrical base cup 8 having through-holes 10, 11 formed at the upper and the lower portions of the outer peripheral wall thereof, respectively, in such a manner as to be spaced apart from each other, and wherein the handle 9 is formed in a flexible ring shape and is inserted into the through-holes 10, 11 so that it is securely fixed to the base cup 8.

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭60-35033

⑤ Int. Cl.

B 65 D 23/00
23/10

識別記号

庁内整理番号

7312-3E
7312-3E

④ 公開 昭和60年(1985)3月11日

審査請求 未請求 (全1頁)

⑥ 考案の名称 ベースカップ付き二軸延伸壺

② 実 願 昭58-126628

② 出 願 昭58(1983)8月15日

⑦ 考 案 者 嶋 田 伸 治 東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉野工業所内

⑦ 考 案 者 野 瀬 和 明 東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉野工業所内

⑦ 出 願 人 株式会社吉野工業所 東京都江東区大島3丁目2番6号

⑦ 実用新案登録請求の範囲

底壁2が下方に球面状に膨出する二軸延伸させた合成樹脂製壺本体1の胴部3に、安定起立用の筒状の紙製ベースカップ8を嵌合装着し、該ベースカップ8には、このカップ壁体の上下部に離間させて設けた貫通孔10、11に挿通させて柔軟な輪状の把手9を取付けてなるベースカップ付

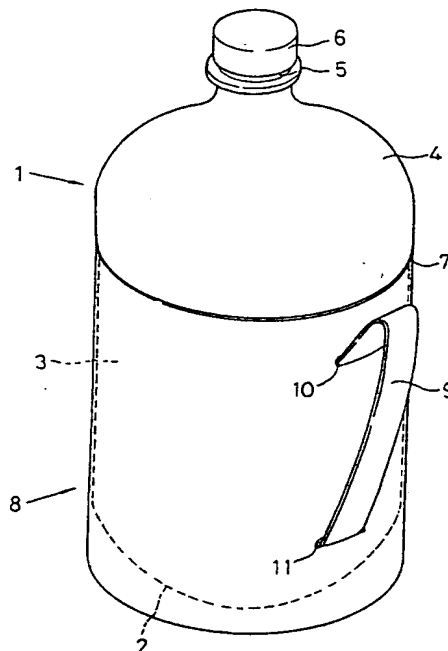
き二軸延伸壺。

図面の簡単な説明

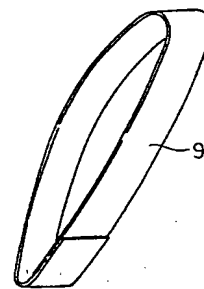
第1図は本考案ベースカップ付き二軸延伸壺の一実施例の外形斜視図、第2図は同実施例の把手の拡大斜視図である。

1……壺本体、8……ベースカップ、9……把手。

第1図



第2図



BEST AVAILABLE COPY

公開実用 昭和60— 35033

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭60-35033

⑫ Int. Cl.

B 65 D 23/00
23/10

識別記号

庁内整理番号

7312-3E
7312-3E

⑬ 公開 昭和60年(1985)3月11日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 ベースカップ付き二軸延伸機

⑮ 実 願 昭58-126628

⑯ 出 願 昭58(1983)8月15日

| | | | |
|---------|-----------|-----------------|------------|
| 出 考 案 者 | 嶋 田 伸 治 | 東京都江東区大島3の2の6 | 株式会社吉野工業所内 |
| 出 考 案 者 | 野 瀬 和 明 | 東京都江東区大島3の2の6 | 株式会社吉野工業所内 |
| 出 願 人 | 株式会社吉野工業所 | 東京都江東区大島3丁目2番6号 | |

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

1. 考案の名称 ベースカップ付き二軸延伸壺

2. 実用新案登録請求の範囲

底壁 2 が下方に球面状に膨出する二軸延伸させた合成樹脂製壺本体 1 の胴部 3 に、安定起立用の筒状の紙製ベースカップ 8 を嵌合装着し、該ベースカップ 8 には、このカップ壁体の上下部に離間させて設けた貫通孔 10、11 に挿通させて柔軟な輪状の把手 9 を取付けてなるベースカップ付き二軸延伸壺。

3. 考案の詳細な説明

本考案はベースカップ付き二軸延伸壺に関する。

二軸延伸壺は、肉薄化により材料が節約できると共に、壺の強度を高めることができるため近時急速に普及している。

しかし、この二軸延伸壺では、壺底が球面状に下方に膨出するので安定起立のため合成樹脂製のベースカップを装着しており、このため価格が割高となり、また廃棄焼却時、その燃焼カロリーが高いため焼却炉を損壊するおそれがある、という

(1)

BEST AVAILABLE COPY

363

実開60-35033

問題がある。

本考案はベースカップとして紙製品を用い、前記問題点の解決を計つたベースカップ付き二軸延伸型を提供せんとするものである。

以下添付図面を参照して本考案実施例を説明する。図において、1は例えば飽和ポリエステル樹脂製のコールドバリソンを二軸延伸させて形成した合成樹脂製の壺本体で、底部2は球面状に下方に膨出形成されている。3、4、5は壺本体1のそれぞれ胴部、肩部、口頸部、そして6は該口頸部5に螺合させたキャップである。この壺本体1は、胴部3の中途、例えば上部に下向き段部7を設け、この段部7下方を幾分縮径した外形としてある。

8が紙材からなる筒状のベースカップで、前記壺本体1の縮径下半部外面に嵌合装着され、その上端周縁が下向き段部7を支承し、壺本体1を安定に起立させている。9は例えば軟質の合成樹脂材からなる柔軟な把手で、第2図のように一本の帯状のものの両端を鋸止め又は接着剤による接着

等の手段で結合して輪状に形成したものであるが、その取付けは、両端を結合しない状態にて、予かじめ明けられたベースカップ 8 壁体の上下部の貫通孔 10, 11 に挿通し、この後両端を結合させればよい。この把手 9 は場合によつては布地等他の材料を用いることもできる。

前記ベースカップ 8 は、内容物を充填した罐本体 1 を支持するに十分な強度と適当な耐水性を具えていればその紙質は適宜任意でよい。一般には、数枚の紙を積層接合し、かつ耐水加工を施した積層紙で構成するのが好ましい。

上記本考案によれば、ベースカップ 8 を従来の合成樹脂材に代え紙材を用いるようにしたので、その分コストを下げることができ、また紙材の燃焼カロリーが低いことから罐全体の燃焼カロリーを低く抑えることが可能となり、廃棄焼却時における焼却炉の損壊防止に貢献できる。しかも、通常、合成樹脂材からなる従来のベースカップのように有害ガスを発生しない利点がある。またベースカップ 8 には把手 9 が取付けてあるので罐の持

運びに便利であり、この把手9は柔軟材なので邪魔にならず、取扱いの上でも都合がよい。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案ベースカッブ付き二軸延伸機の
一実施例の外形斜視図、第2図は同実施例の把手
の拡大斜視図である。

1 .. 機本体

8 .. ベースカッブ

9 .. 把手

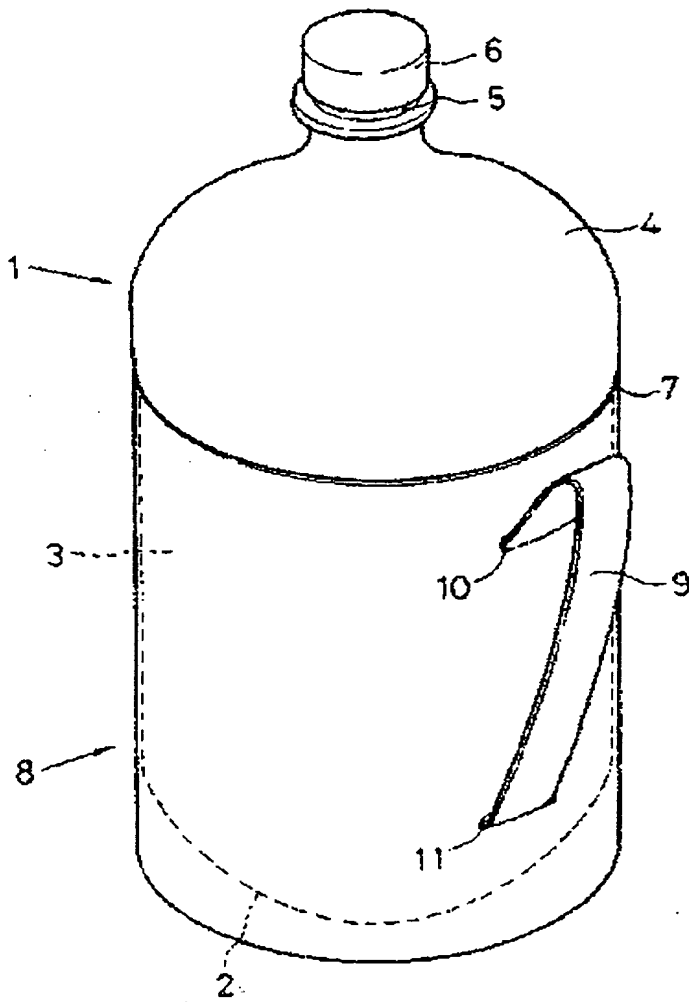
実用新案登録出願人 株式会社 吉野工業所

代 表 者 吉 野 弥 太 郎

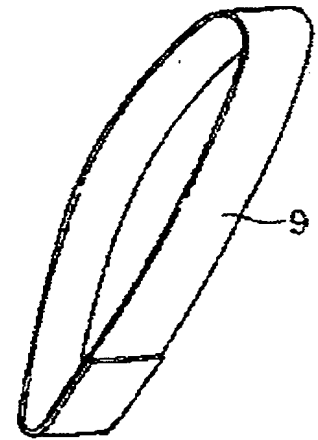
REST AVAILABLE COPY
(4)

366

第 1 図



第 2 図



BEST AVAILABLE COPY

367

実開60-35033

出願人 株式会社 吉野工業所
代表者 吉野 弥太郎